



2011年10月

学生のみなさんへ、

日本とドイツの間に修好通商条約が結ばれ、日独の友好関係が始まってから今年で150年が経ちました。「日独交流150周年」を祝うために、昨秋から数多くのイベントが両国でおこなわれていますが、その成果は、私たちが期待していた以上のものでした。今までにおこなわれたイベントと、これから予定されているイベントを合わせると、その数は700を超えます。代表的なものは、ドイツのロックバンド「トキオ・ホテル」やバイエルン国立歌劇場の来日、一年間のウェブ連載漫画「日マン独」、南山大学主催の日独共同演劇プロジェクト、オーディオ・ビデオコンテストの「**Hertz und Pixel**」です。とくに今年1月24日、「日独交流150周年」名誉総裁である皇太子殿下の御臨席を賜り、両国の修好通商条約締結150周年を記念した式典を開催できたことは、私たちドイツ人にとっては非常に光栄なことでした。

3月11日に発生した東日本大震災によって、多くのイベントが、中止となり、あるいは来年まで延期されることになりました。そうした中、新たに多くのイベントが被災地でおこなわれ、被災者を励ますことで、ドイツと日本の友情を深めて参りました。

「ドイツと日本の絆をつなぐ」を合言葉に、私たちはこれからも日本を支援していきます。10月23日（日）には、東京都港区にある有栖川宮記念公園と在日ドイツ大使館にて「ドイツフェスティバル 絆をつなごう 日本とドイツ」を開き、日独両国の友好関係をお祝いします。このフェスティバルで、日独間交流の様々な側面を見ることが出来ます。共に食事し、共に飲み、共に音楽を聴きましょう。また、ドイツ人と日本人が手を組んで東北の被災者たちを支援した様子も知ることが出来ます。入場は無料ですが、屋台の収益の一部は被災地の復興支援のために寄付されます。詳しい情報は、

同封したフライヤーをご覧ください。

フェスティバルのクライマックスには、クリスティアン・ヴルフ  
ドイツ連邦共和国大統領が来場したみなさんと共に「日独交流 150  
周年」を祝います。また、ドイツと日本の友好の証として、菩提樹  
の記念植樹をします。

みなさん、10月23日にはドイツフェスティバルに来てください。  
共にドイツと日本の交流と友情を祝い、素敵な一日を過ごしましょ  
う！



フォルカー・シュタンツェル  
駐日ドイツ連邦共和国大使